

弊社における SDGs への取り組みについて

株式会社パブリックプランニングでは都市のインフラを創り支える建設コンサルタント企業として、持続可能な開発目標(SDGs)へと取り組んでまいります。令和4年8月には、本社所在地である川崎市の「かわさき SDGs ゴールドパートナー」に認証されました。具体的にはそれぞれのゴールに向けて、以下の行動に着手しております。

3.すべての人に健康と福祉を

- (1)下水道整備・再整備設計に携わる企業として、ウォーターエイドジャパンへの募金を実施
- (2)社員が定時で帰宅出来るよう、ノー残業デーを毎月第2水曜日に設定
- (3)会社負担による全社員へのインフルエンザワクチン接種
- (4)国内外での社員旅行(コロナ禍においては自粛)
 - └ 発展途上国におけるインフラ整備の視察/経済状況・子供の貧困状態の把握も兼ねる
- (5)災害時に備え、会社負担で社員全員分の非常食を常備

4.質の高い教育をみんなに

- (1)SDGs への理解を深めるための参考書購読や勉強会の実施
- (2)高度な技術獲得へ向けたサポートや各種資格取得の支援

5.ジェンダー平等を実現しよう

10.人や国の不平等をなくそう

- (1)女性の社会進出促進に向けた雇用(現在会社全体のうち3割が女性)
- (2)国籍を問わない外国人の雇用
- (3)日本語教育等、外国人社員の支援
- (4)障害者雇用(会社全体のうち1割)

7.エネルギーをみんなに そしてクリーンに

- (1)ペットボトル使用料削減を目的とした、事務所への飲料サーバー設置
- (2)マイカップやマイ箸等、繰り返し使用できる食器を推奨
 - └ 洗浄時は環境にやさしいエコ洗剤・エコスポンジを使用

8.働きがいも経済成長も

- (1)多様な働き方の実現に向けた、有給休暇やフレックスタイム制度の導入
 - └子育てや介護、通院等に対応しながらフレキシブルに勤務可能
- (2)高齢者雇用を実施し、定年を70歳に設定

9.産業と技術革新の基盤をつくろう

- (1)無電柱化/下水道再整備/耐震性能を有する管材・MHの採用等、災害に強いインフラ整備の設計
- (2)MHや地上機器の位置等、全体的な道路空間の安全性・快適性を重視した設計
- (3)既設埋設管・設備を活用した無電柱化手法(既存ストック活用)の設計
- (4)低公害化・環境性に配慮した工法の選定
 - └低騒音のライナープレート工法/緑地保全を可能とする斜面安定対策工法/下水熱を再利用する下水道再整備工法(ヒートライナー工法)等
- (5)3DCADソフト(Autodesk Civil 3D)を使用した設計

11.住み続けられるまちづくりを

13.気候変動に具体的な対策を

- (1)建設コンサルタント企業として、住みよいまちづくりの一端を担う業務(インフラ整備の設計)に従事
- (2)下水道雨水幹線の新規整備・再整備設計を通して、都市における水害の低減に尽力
- (3)横浜市の『災害用ハマッコトイレ』等の災害用トイレ設計によって、災害発生時における被災者の衛生面を確保

(以上)



かわさきSDGs
ゴールドパートナー

川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

「かわさきSDGsゴールドパートナー」

認 証 書

事業者名称 株式会社パブリックプランニング

認 証 日 令和4年8月24日

有効期限日 令和7年8月23日

貴社・貴団体を「かわさきSDGsゴールドパートナー」として認証します

川崎市長 福田 紀彦

